

大橋あきお 通信

大阪府議会議員

令和7年
秋号

発行: 大橋章夫府政事務所

〒573-0027 枚方市大垣内町2-17-5 ダイショウビル301

TEL: 072-861-0117 / FAX: 072-861-0116

<https://ohashi-a.com/>



■都市住宅常任委員会で質問する大橋府議

大阪府議会9月定例会 都市住宅常任委員会より

YouTube



大橋あきおは、大阪府議会9月定例会都市住宅常任委員会において、府民の皆様からいただいたお声、ご相談をはじめ、大阪府の諸問題、地元枚方市・交野市のまちづくりについて質問しました。

JR学研都市線沿線のまちづくり

北河内地域はいにしへの京街道、現在の京阪本線沿線を中心に発展してきました。守口市、門真市、寝屋川市の沿線では密集市街地化している地域もあり、まちづくりの課題になっています。JR学研都市線沿線では、2010年の第二京阪道路の全線開通から、その立地ポテンシャルを活かし、商業・物流施設・住宅地などの開発が進んでいます。今後さらに新名神高速道路や淀川左岸線の完成により、学研都市線沿線が東西の交通の要衝となることはまちがいありません。星田駅のまちづくりは完成に近づいています。枚方市の茄子作地域のまちづくりも進んでいます。8月の大阪府都市計画審議会で、枚方市の長尾駅北地区・東地区、交野市の寺・向井田地区、寝屋川市の寝屋川公園地区が保留地区に指定され、市街化区域編入に向けてまちづくりを進めることになりました。大橋あきおは、北河内地域のまちづくりが大阪全体の発展にもつながることを訴え、大阪府の支援を要望しました。

大阪府は、「JR学研都市線沿線まちづくりビジョン」を策定し、地元と共有しながら意見交換を行っている。今後も沿線各市やJRと連携しながら、まちの価値や魅力を高め、住みたい、働きたい、訪れたいまちづくりが実現できるように取り組んでいくと答えました。

流域下水道の全国特別重点調査について

国土交通省が全国で行った流域下水道の重点調査は、埼玉県八潮市の大規模な道路陥没事故を受けて実施されました。その結果、全国で約300kmの腐食や破損が見つかり、陥没につながるリスクがあることがわかりました。大阪府においても103kmが優先実施箇所であり、そのうち約41kmで一部劣化が確認されました。大橋あきおは、埼玉県八潮市の映像が記憶に新しい府民にとって大きな不安になっていることを指摘し、調査結果とともに見つかった劣化箇所への対策をどう進めていくのか質問しました。

大阪府は、10月6日までに調査を完了、約41kmの一部劣化箇所については、速やかに対策を実施するよう求められている「緊急度1」の箇所が2km、5年以内の対策を実施する「緊急度2」の箇所が39kmであった。「緊急度1」と診断された箇所から順次機能回復させていく、水の流れる中での作業のため、安全対策を徹底して作業を進めると答えました。



京阪本線連続立体交差事業と光善寺駅前再開発事業



寝屋川市駅から枚方市駅までの京阪電車の高架化事業は、平成25年の国の認可以降、地元枚方市、寝屋川市の協力で用地取得を進め、いよいよ工事着手に入りました。また、光善寺駅前のまちづくりも同時並行で進められています。期待が高まる一方で、地元の皆さんからは、これから工事がどうなっていくのか、いつ完成して新しい街が誕生するのかという声をいただきました。大橋あきおは、工事の進捗状況とわかりやすい情報発信について質問しました。

大阪府は、香里園駅の仮駅、仮の線路の設置工事から仮駅、仮線への切り替えにより完成へのスケジュールが見えてくるとし、一日も早い完成を目指すとしていました。また、光善寺駅前については、2年後に26階建てのマンションが完成、3年後には幅17メートルの道路と駅前ロータリーも完成する、必要な事業費の確保とともに法的手続きなどのノウハウや技術的なアドバイスなど地元を支援していくと答えました。